



泌尿器科学紀要

第 12 卷 第 7 号

1777005

昭和 41 年 7 月

随想 奉天の終戦前後.....	藤井 浩	611
上部尿路感染に関する2, 3の統計的研究		
III. 逆行性腎盂撮影後の発熱(感染).....	岡 直友・伊藤 栄彦・長谷川 進	613
外傷性脊髓損傷患者の泌尿器科学的研究		
第V報 下部尿路のレ線学的研究並びに薬物の影響について.....	伊藤 順勉	627
X線映画による膀胱疾患の排尿運動.....	鈴木 正貢・元重 博文	644
急迫尿失禁に対する経腹的陰吊上術		
.....栗田 孝・古武 敏彦・岩佐 賢二・矢野 久雄・紺屋 博暉		655
陰茎癌の9例.....	田中 広見・小川 昌彦・藤本 洋治・宮尾 尚敬・石部 知行・田戸 治・松本 暁	662
幼児に見られた尿管瘤の尿道外脱出の1例.....	三軒 久義・年名 啓	673
腎盂軟結石の2例.....	福島 修司	677
下大静脈後尿管の1例.....	岸本 孝・岡田謙一郎	684
腹膜灌流及び遊離腸管灌流を中心とした生体臓器灌流に就いて.....	稲田 務	
.....沢西 謙次・相馬 隆臣・岡部達士郎・川村 寿一・三宅ヨシマル・山根 守		691
泌尿器科領域における BuTDS 使用経験		
.....後藤 薫・篠田 孝・木村泰治郎・磯貝 和俊・西 守哉・大谷 文茂		709
泌尿器科領域に於ける Lysozyme の臨床的応用		
.....稲田 務・沢西 謙次・吉田 修・岡田謙一郎・三宅ヨシマル		713
編集後記・購読要項・投稿内規.....		724

Some Statistical Studies on Upper Urinary Tract Infections.		
III. Fever after Retrograde Pyelography.		
.....N. Oka, H. Ito and S. Hasegawa		613
Urological Studies on Patients with Traumatic Spinal Cord Injury.		
Part V Roentgenological Studies of the Lower Urinary Tracts and Effects of Drugs.		
.....Y. Ito		627
Examination of the Miction Motion in Urinary Bladder Diseases by X-ray Cineradiography.		
.....M. Suzuki and H. Motoshige		644
Abdominal Suspension of the Vagina for Urinary Stress Incontinence.		
.....T. Kurita, T. Kotake, K. Iwasa, H. Yano and H. Konya		655
Cancer of the Penis: Report of 9 Cases.		
.....H. Tanaka, M. Ogawa, Y. Fujimoto, N. Miyao, T. Ishibe, O. Tado and S. Matsuki		662
A Case of Prolapsing Ureterocele in a Child.		
.....H. Sangen and H. Toshina		673
Cases of the Soft Renal Calculi.		
(Report of 2 Cases).		
.....S. Fukushima		677
Retrocaval Ureter: A Case Report.		
.....T. Kishimoto and K. Okada		684
Studies on Vividialysis with Special References to Peritoneal Lavage and Isolated Intestinal Loop.		
.....T. Inada, K. Sawanishi, T. Soma, T. Okabe, J. Kawamura, Y. Miyake and M. Yamane		691
Clinical Experience with BuTDS in Urological Field.		
.....K. Gotoh, T. Shinoda, T. Kimura, K. Isogai, M. Nishi and F. Ohtani		709
Clinical Use of Lysozyme in the Field of Urology.		
.....T. Inada, K. Sawanishi, O. Yoshida, K. Okada and Y. Miyake		713

京都大学医学部泌尿器科学教室
 Department of Urology, Faculty of Medicine.
 Kyoto University, Kyoto, Japan
Editor : Prof. Tsutomu INADA

泌尿紀要
 Acta Urol. Jap.

編集後記

近頃 医界ニハ問題ガ多ク マスコミ ガ騒イダリ 医者ガタタカレタリシテイル。ソノ中ニハ 見当チガイノ意見ヤ 問題ガ ハズレタリシテイルノモアル。私ハ コレラニ対スルーツノ考エヲ述ベテミヨウト思ウ。

広ク医界ヲ眺メルト 看護婦ガ足ラズ 辺地ニ医師ガナク 無給医局員ガ多数アリ 医療従事者ノ所得ガ低ク 診療施設ガ不十分デアル等ノ事ガ問題ニナツテイル。

更ニ広ク 社会ヲ見ルト 養護ヤ福祉ノ施設ノ貧弱サ等モ 大キナ問題ニナツテイル。コレラハ イズレモ ソノ通りデアッテ 何トカセネバナラス事バカリデアル。

然シ 看護婦ヲ増スタメニハ ソレダケノ養成機関ガ必要デアルシ 看護婦ノ待遇モ良クセネバナラス。辺地ニ医師ヲ置クタメニハ ソレダケノ用意ガ必要デアリ ソノ他ノ問題デモ ソレゾレノ事情ガアル。

トコロガ ソレラノ底流ニハ共通ノ問題ガアルノデアル。ソレハ結局 経費ガ極メテ不十分ニシカ 出サレテイナイトイウ事デアル。日本ニ於ケル医療費ノ大部分ヲ占メテイル社会保険ノ医療費点数ヲミルト 診察料 検査料 入院料 手術料等ハ イカニ安価デアルカニ驚ク。規則通りニ コレヲ守ッテイテハ医療ハ成リ立タナイ。勿論 コレラガ安価デアッタリ 無料デアッタリスルノハ ワルイ事デハナイ 然シ他ノ物価ト比ベテミルト安過ギルノデアル。

日本ノ医療費ハ米国ノ十分ノ一 或イハ ソレ以下デアル。トコロガ 国内ニハ 自動車 テレビ カメラ等ガ ハンラン シテオリ コレラノ価格ハ米国ノソレト変ラス。又 観光トカ享楽施設ハ米国以上ノモノガアル。コレラノ事ニハ惜シゲモナク金ヲ費ウ。産業興隆モ新幹線モ結構デアル。然シ ソレニヨッテ 我国ガ本当ニ向上シテイルト思ッテヨイカ。人命ニ関スル医療ヤ幸福ニツナガル福祉ノ事ニハ金ヲ出サズニ 自分ノ享楽ニハ大金ヲ出ストイウ ソノ不釣合ハドウナノカ。

国情ヲ動かスカラ持ッテイル政治家ヤ役人ハ コノ不釣合ヲナクシテ 国民ニ本当ノ幸福ヲモタラスヨウニ 粉骨碎身スル義務ガアル。党利党略トカ 団体ノ利益追求等ニ明ケ暮レテイル者ニ期待スル事ハ無意味デアル。結局ハ 国民全般ノ自覚ト良識ニ俟タネバナラス(昭和41年7月)。

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,500円を前納する。1冊料金 150円。払込みは振替口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は会員に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例。1) 中野：泌尿紀要、1：110、昭30。2) Lazarus, J. A. : J. Urol., 45 : 527, 1941.
5. 欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳する。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受ける。
6. 掲載料の著者負担は4頁迄毎頁 600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申受ける。別冊2部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。予め希望部数を申込みこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。